**第１５４回ペン川柳　　お題「店」（名詞）**

**世話人：平尾富男（酔深）**

**日時＝平成２９年２月２４日（金）稲田屋新宿西口店**

**参加者＝安藤晃二（晃二）、三春（火酒）、浜田道雄（我々好）、大野昰（だし）、平尾富男（醉深）、稲宮健一（井波）　（６名）**

**欠席者＝\*岩崎洋一郎（不言）、\*西川武彦（酔雅）、\*八木信男（明迷）、\*富田佳瑞（鬼瓦）、\*松谷隆（零門）、\*細谷博（損得）、山縣正靖（安兵衛）**

**（６名、\*印は投句）**

**（\*印は今月の互選六句）**

**１．小間物屋店は転居の終電内　（晃二）　←　（０票）**「小間物屋」とは酔って嘔吐したことを意味しています。終電の車内で嘔吐していることを詠ったようですが、「転居」の意味が不明瞭でした。

**\*２．車内ではずらりスマホが店開き　（酔雅）　←　（３票）**電車に乗ると、乗客の多くがスマホを取り出して夢中になる昨今の状況を活写しています。

**\*３．まずくても美人女将で通う店　（明迷）　←　（３票）**お店で出す料理は決して美味しいわけではないが、女将が美人なので客が通ってくることを詠いました。鼻の下が長いお客としては当然と言えば当然の話です。

**４．人気店行列ばかり長くなり　（我々好）　←　（０票）**その通りです！

**５．物売りは店を持っては儲からぬ　（だし）　←　（０票）**少し分かり難かったですが、インターネット販売を推奨する句です。ネット販売ですから、店舗を構える必要はなく不動産経費が掛かりません。

**６．アベノ節シャッター通りの店哀し　（晃二）　←　（０票）**一見景気の良い安倍政権の空虚な掛け声の裏で、店を閉めているストリートの目立つこと！

**７．店番の甘い笑顔で品を替え　（酔雅）←　（１票）**対面商売は売り手の愛想が決め手です。

**８．今出たと麺をあわててゆでる店　（明迷）　←　（２票）**蕎麦屋の出前です。「遅い」と電話で催促され、「もう出ました。お宅に向かっています」との嘘の方便は落語にも出てきます。

**９．店じまいかみさん駆け込み殺気立つ　（井波）　←　（１票）**元句は「吸われ」でしたが添削されました。閉店売り出しに大急ぎで出掛ける作者の奥さんを詠みました。一般的な内容に替えて「かみさん」は「**主婦みな**」の方が宜しいのでは。

**１０．いやな子ね店ではいい子内でブスッ　（損得）　←　（１票）**下五の最後「ブス」は「ブスッとしている様」を詠んだので、不美人（ブス）と間違われないように、「ブス**ッ**」のように「**ッ**」を挿入されました。

**\*１１．目は霞み手が震えても店の顔　（火酒）　←　（２票）**「横丁のタバコ屋さんのお婆さん、その昔は器量良しの看板娘」だったんです。今でも近所のお爺さん連中が立ち寄ります。

**１２．駅裏で終電を待つ店灯り　（鬼瓦）　←　（１票）**最終電車で家に戻ってくるサラリーマンを迎えるのは、侘しい裏通りの一杯飲み屋の赤提灯なんです。

**１３．好きな店品味躾はすべてよし （零門）　←　（０票）**「品（質）・味・（店員の）躾」の三拍子が揃えば言うこと無しですね。元句では「躾」が「**しつけ**」でしたが、

**品**と**味**に合わせて漢字に添削されました。

**１４．流行る店ママの笑顔と優しい手　（酔深）　←　（０票）**当り前のことを詠みましたね。これでは票は入りません！　「優しい手」をもっとお色気たっぷりな言葉に代えたら面白いですね。

**１５．店は皆雨戸を締め切り過疎の町　（不言）　←　（１票）**印元句の中七は「占めきり」でしたが添削されました。

**１６．赤提灯暮れ六つ知らす店明かり　（火酒）　←　（０票）**夕方の6時頃（暮れ六つ）になると辺りは暗くなりはじめ、赤提灯が灯されます。「赤提灯」「暮れ六つ」「店明かり」と関連することを三重に詠みこんでいます。作者が如何にこの時刻を待ち遠しく思っていたかの証左ですね。

**１７．店先の昭和が招くティールーム　（鬼瓦）　←　（１票）**下五の「ティールーム」は、まさに昭和、フランク永井の「有楽町で逢いましょう」を髣髴とさせます。

**\*１８．葬具屋も花環飾るか新店舗　（零門）　←　（５票）**投句ですが、先月に続き**最優秀**に選ばれた零門句です。皮肉が効いた面白い川柳です。日頃から川柳心を忘れずに暮らしている素晴らしい川柳作者なのですね。

**１９．店の中覗いただけで金取られ　（酔深）　←　（１票）**作者の経験談です。銀座のクラブに入って、危険を感じて出ようとしましたが、怖いお兄さんに出口を塞がれました。**「覗きは高いよ！」**

**２０．店じまい黙って闇にとんずらし　（不言）　←　（１票）**店を畳んで夜逃げ同然にその場を去ったのです。商売は難しいものですね。**サラリーマンで良かった！**

**２１．店の売り頑固親父とネタの良さ　（我々好）　←　（０票）**リズムも歌心も素晴らしいですが、内容は少々陳腐でしたか……。

**\*２２．店に来て何を買うのかまた忘れ　（だし）　←　（２票）**調子よく飄々と詠んでいますが、聞き覚えのあるような……。

**２３．当て外れ何も売れずに店じまい　（損得）　←　（０票）**意気揚々に店開きしたのは良いけれど……。商売の難しさをしみじみと詠いました。

**\*２４．格子窓脂粉で誘う店の華　（井波）　←　（４票）**今の時代、格子窓の向こうで待ち受けるお姐さんの姿は見られなくなりましたが、作者は幼心に父親に連れられて行った岡場所？を思い出しているのでしょうか……。

**総評：２月の出席者は６名と少なかったですが、投句参加は６名、合計２４句で「店」の合評会でした。３月は「返す」がお題です。**

**―　今後の日程：**

**３月２８日（火）「返す」（他動詞）、４月２５日（火）「粉」、５月１２日（金）「練る」、６月２３日（金）「柱」、７月２８日（金）以降のお題と日程は、３月の句会で発表します。**